

1971年08月07日 第3種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）

2001年9月26日発行 SSKA通巻第3989号

SSKA

ああるびい

RP三重支部会報第5号

今回は臨時で会報を出すことになりました。

6月3日の総会には会員と付き添いと関係者で85名の参加がありました。総会には活発な意見があり、関係者も喜んでいきます。その後で障害者年金について京都視覚障害者協会の高間様よりお話があり、これも私たちにとって勉強になりました。

午後からは大阪大学の森村先生の講演があり、先生が返答に困られるようになるほどの意見がでて、盛況でした。その後で音声パソコンのデモとカラートークのデモがありとっても有意義な一日でした。

* 議案書を搭載させていただきます。

第6回R P 三重総会議案書

1 平成12年度事業報告

下記の行事を主催または共催し参加しました。

日付	行事名	開催場所	参加者
4月23日	役員会	県市民活動センター	
4月29日	三難連役員会	県女性センター	支部長
6月3日	本部総会	東京	支部長
6月11日	総会、医療相談会	松阪福祉会館	71名
6月18日	ワールドレティナデー の打ち合わせ	桜井市支部長	
7月6日	難病者支援金の受領	津市	支部長
7月30日	三難連総会	県女性センター	5名
9月2日	支部長会	東京	支部長
9月10日	ワールドレティナデー	岐阜市	6名
9月23日	ワールドレティナデー	大阪市	19名
10月29日	秋の交流会	久居市	44名
10月29日	役員会	久居市	6名
11月23日	三難連役員会	県女性センター	支部長
11月26日	一日医療相談会	岐阜市	支部長
1月28日	新春交流会	鳥羽市	48名
2月15日	医療相談会	鈴鹿保健所	2名
2月25日	難病の集い	県身障センター	3名
3月9日	難病在宅支援 ネットワーク会議	三重県庁	支部長
3月 17, 18日	J R P S 支部長会	横浜市	支部長
3月25日	役員会	県女性センター	
3月30日	支部会報の発行		

2 平成12年度決算報告

収入の部	
本部より	50,000
寄付	40,000
支援金（中日新聞文化更生事業団より）	180,088
総会の参加費	20,000
弁当代	47,000
三難連より	64,000
新春交流会参加費	192,000
寄付 会員より	7,600
合計	600,688
支出の部	
総会費	
印刷費	9,242
通信費	12,684
講師謝礼	50,000
会場費	25,017
弁当代	45,800
ボランティア交通費	15,710
三難連への会費	30,000
三難連総会への行動費	8,280
ワールドレティナデーイン岐阜の行動費	20,240
ワールドレティナデーイン大阪への行動費	19,000
秋の交流会	
印刷費	3,549
通信費	2,320
ボランティア交通費	24,720

一日医療相談会（岐阜）行動費	7,360
新春交流会	
印刷費	11,415
通信費	5,058
会場費、料理	164,790
残金（RI世界大会へ寄付）	27,210
鈴鹿保健所への役員行動費	4,160
難病の集いの役員行動費	8,090
12年4月の役員会の交通費	7,140
13年3月の役員会の交通費	7,850
RI世界大会の基金	90,000
残金（本部に寄付）	1,053
合計	600,688

3 平成13年度事業計画案

日付	行事名	開催場所
6月3日	支部総会	松阪市
7月12日	白杖歩行の訓練会	県女性センター
7月12日	世界大会協賛音楽会	県文化会館
7月29日	三重県難病連総会	津市
7月	役員会	
11月3日	秋の会員交流会	志摩スペイン村
1月	役員会	
1月27日	新春会員交流会	北部地区を予定
2月21日	鈴鹿保健所	生活相談会
2月	三重県難病の集い	津市
3月	JRPS本部にて支部長会	
3月	役員会	
3月	支部会報の発行	

4 平成13年度予算案

収入の部 総額	354,000
JRPS本部より交付金	50,000
三重県難病団体連絡協議会より交付金	64,000
総会医療相談会費	90,000
交流会会費	150,000
支出の部 総額	354,000
総会・医療相談会関係費	160,000
交流会事業費	150,000
総務経費	44,000

5. その他

6 役員の改選について

* 役員は全員が再選されました。

私が、網膜色素と診断されて十七年になります。
治らない病気としかわからず、だんだん見えにくくなってゆく
恐ろしさで、暗く悲しい毎日でした。

そんな、私が三年前、病気になりました。病名は胃癌」。その
時私は、このまま死んでしまったら楽になれるのでは…。」と思
いながら、十時間以上にも及ぶ大手術で胃を全摘出しました。
いつも、迷惑ばかりかけ、足手まといでしかないと悲観的にな
っていましたが、主人や子供達の元気になって欲しいと言う必
死な思いが、とても嬉しく、私が元気なることがみんなを喜ば
す事だと思い、頑張る事ができました。

二ヶ月後、生まれ変わった気持ちで退院しましたが、現実で
は以前より眩しく、日中ではほとんど歩く事ができなくなっ
ていた自分に、愕然としました。

そんな時、娘から新聞に、「かあちゃんの目の病気の事が載つ
とるよ」。と、教えられ、初めてRPの事を知り、少しでも、自分
の病気の事が知りたいと思い、入会しました。

入会して初めての総会では、出席を迷っていたところ、木村
さんに誘っていただき最初の一步を踏み出す事が出来ました。
主人と出席する事により、家族に、目の病気についてより一層
理解してもらう事ができました。その時に話されていた様に、
私は、波間を溺れそうになって漂っている所をRP号」によって
救われたと思っています。同じ悩みや、苦しみを持っている人
達と、話をしているだけで気持ちが楽になったうえ、あの明る
さや、パワーをもらう事ができ希望の見える、忘れられない一
日でした。

楽しみにしていた秋の交流会、主人の都合がつかず、行けな
くなりましたが、諦められず、初めて、白杖を持って二十年ぶ
りに、一人でバスに飛び乗り、親切な人にも助けられつまづき

ながらも電車に乗り、久居まで辿り着く事が出来ました。その日一日、小川さんのお世話になり有意義な一日を、過ごす事ができました。この日をきっかけに、誰かに頼らなければどこにも行けないのは、つまらないと思い、小川さんにすすめられていたロービジョンへ行き、先生に歩行訓練をすすめていただき、主人に相談したところ、「自分でやってみたかったら頑張ってみな」と、励まされ、アイパートナーの前川さんに、歩行訓練をお願いしました。

私は、松阪の病院まで、一人で行ける様になりたいと思い、駅から病院までの訓練を受けています。嫁いで三十五年、殆ど出歩く事のなかった私でしたが、週に一度の訓練は、人目をきにせず、夢中で歩く事ができます。歩行訓練は私にとって「アイ革命」です。その訓練のおかげで、夜は一步も外に出る事の出来なかった私が今では、光物をたくさんつけて、夜の散歩を楽しむ事ができます。しかし、目の見える人には、理解してもらえない所もあり、何気ない言葉に深く傷つき、落ち込んだ日もありましたが、今はめげずに頑張っています。

今では、自分の目よりも、杖のほうが安全を教えてくれる「アイパートナー」です。そんな私の今の夢は、神奈川県に住む友達に会いに行くことです。夢に終わらない様に頑張ります。最後に、もしこれから子供達がRPになったとしても「今は治るから大丈夫」と、言える日が早く来る事を心から願っています。

森田 ミヨ子

<インタビュー>

歩行訓練に参加して

去る7月12日、女性センター(津)で行われた歩行訓練に参加された遠藤八重子さんにその時の感想をお聞きしました。

◎レポーター「遠藤さんはいつもご主人のガイドで白杖を持って歩いておられますが、この講座に参加しようと思われた動機は何ですか」

◎遠藤「いつも主人にばかり頼っているので家の近くくらいは自分一人で歩くことができればと思って参加しました」

◎レポーター「参加されてどうでしたか」

◎遠藤「白杖の持ち方、歩き方など白杖の使い方を具体的に教えられました」

◎レポーター「特に印象に残ったことは？」

◎遠藤「階段の上り下りです。白杖を寝かせて一つ一つ階段を確かめつつ上ることなどです。また点字ブロックの上を歩かないで、その横を白杖で確かめながら歩くことも知りました。それから信号を渡る時のお話しもありました」

◎レポーター「どうですか、一人で歩けそうですか？」

◎遠藤「一回だけの講座を受けただけですので、まだ一人歩きは不安ですが、何回か訓練を受ければできるようになると思います。もう一つ感じたことは、まだ少しでも視力があるほうが理解度が深まるように思いました」

◎レポーター「ありがとうございました」

レポーター小川裕子

梯 剛さんの ピアノコンサートの思いで

司会 皆さんこんにちは。今日は暑い中R P 三重共催の梯剛さんのコンサートに参加していただきましてありがとうございます御座いました。

早速ですがお聞きになった感想をお聞かせ下さい。

- A 私はコンサートを聞き出すと普段の疲れが出てつい居眠りが出るのですが今回は眠らずに聞きました。
- B 私は三階だったので遠くて姿が見えないので残念でした。弱視ですからよほど前に行かないと見えないとは思いますが。
- C 私は当日に行ったんですが介護者と共に割引していただいたので嬉しかったです。素晴らしい演奏で、もし行ってなかったら後悔したと思います。こんな機会があったら是非誘って下さい。
- D 音楽といえば田園と運命しか知らなくて無知な私ですが、一度コンサートに行きたいと思っていたところでした。

梯さんのことはラジオで少し話をしているのを聞きましたが、同じ障害者とは言え、私には遠い人で、テレビかラジオでしか会えない人だと想ってました。あの素晴らしさは、才能だけではないでしょう。人にはわからない努力と苦労があったと思います。

ガイドさんの話では、小柄なひとらしいのに、すごい体力を使うんでしょうね。指の使い方、音にもいろんな表情の有ることがわかりました。

もっともっと、演奏をききたかったです。雰囲気の良い、すてきなコンサートでした。又、機会があればぜひ出かけたたいとおもいます。

E 本当に梯さんのピアノは素晴らしかったですね。見えないのに鍵盤の位置が解るものなんですね。音はあちこち跳ぶのに間違えないのはやっぱりすごい努力の結果だと思います。それに楽譜を覚えるのはお母さんの協力ですしているんですけど二人三脚の素晴らしい成果だと思います。

F アンサンブル神戸のオーケストラの音色もきれいでしたが梯さんのピアノをもっと聞きたかったですね。

実は三月あたりに梯さんだけのピアノコンサートが同じ津の文化会館であったのですが、それを聴けなかったのは残念です。その演奏会の二日前にその喫茶室でコーヒーを飲み終えて立ち上がったところ、偶然立ち上がったのが梯さんとお母さんでした。リハーサルのために早くから来られたようでした。そこで、私は厚かましくも、手を握らせてもらって、「私も目が見えません。どうぞがんばって下さい。」などと言ったのでした。身長は一メートル七十くらいと思いましたが、贅肉は指にも手にも体にも全然無いという締まった体つきと思いました。

G 本当に素晴らしいピアニストだと思います。聞くところによると視力を失ったときの病気の根がまだあって再発のおそれも秘めておられるとのこと。体をいたわりながらもっともっと、演奏を続けて、私たちに感動を分けていただきたいと思います。今回の行事にもっと多くの方が参加されて、梯さんのピアノを聞いて欲しかったと思います。

司会 沢山の感想をありがとう御座いました。

1971年08月07日 第3種郵便物認可（毎月6回 1の日・6の日発行）
2001年9月26日発行 SSKA通巻第3989号

—◇編集後記◇—

最近私たちの目に関していろいろなよい情報がでてきました。そこで、次回の会報には「目がよくなったらどんなことをしたい」かのアンケートを役員さんが皆様にお尋ねさせていただきますので、よろしくお願いします。

1. 梯さんのチャリティーコンサートの収益金とテレホンカードの換金した合計31,350円をRIの世界大会に寄付をさせていただきますので報告します。ご協力ありがとうございました。

2. 支部の会計が厳しいものがあるようになってきました、そこで、総会の時にカンパの袋をまわさせていただきましたところ、22671円の援助をいただきました。

総会に参加されなかった方で援助していただける方は支部長までご連絡下さい。

TEL 0598-58-2664までお願いします。

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：RP三重会報編集部 河原洋紀

〒515-0847

松阪市岩内町614

TEL/FAX 0598-58-2664

E-Mail hk2664@aqua.ocn.ne.jp

定価200円